

「〓四十年後〓あなたは人の幸せを考えていますか。」

中学二年 N・K

四十年後の私へ

あなたは今幸せですか。どんな日々を送っていますか。

きつと四十年前のあなたが「生きる」について考えていたこと、記憶の隅にもないのでしよう。「生きる」をいくつかの視点から考えてみた四十年前の私の世界観にお付き合いください。

〓平成最後の夏。今だからこそ考える「生き方」〓

現代の人々は日々仕事や学業に追われ、自分のことで精いっぱい。誰かの幸せを願う時間があるのなら自分へのご褒美の時間に費やそうと考えている人が多いと思う。口では困難の中過ごす人々のために募金や手助けをしようと言っていてもついつい誘惑に負けてしまふというケースが多い。私はそのことについて少し考えてみることにした。

神様は私たちに個性や沢山の愛情をこめてこの世に送り出してくださった。この世にいる人々全員が神様の子供、つまり私たちは兄弟だ。ただ育った家や環境が違うだけ。そんな小さな違いだけなのに私たちは互いに憎みあったり差別をしたりしてしまう。相手を見下すことで自分が上の立場に立つことを人々はみな「快感」という一言で済ませてしまう。自分自身は「幸せ」を感じているかもしれないが相手は大きな「不快感」を感じる。その悲しみに気づくことなく差別やいじめはどんどんエスカレートしていつてしまう、それが今の世の中だ。それに気づいている第三者は「他人事」のように見て見ぬふりをして去っていく。一つ例を挙げるとするならば本校でも行っている「募金」だ。困難の中小きな希望を信じて必死に生きている人々がこの世の中にはたくさんいる。それを「私は幸せだから。」という理由で無視してしまっているのだろうか。自分たちもいつ同じように苦しんでもおかしくはない。そんな時、関係ないと突き放されたらどうだろう。「人は相手の苦しみを知ってはじめて相手

を理解することができると聞いたことがある。相手の立場に立って物事を考えるそれが今の私たちに必要なことだと思う。

四十年後の私、あなたは今周りの人のことを考えて行動できますか。幸せを届けられていますか。

中一の頃私は授業の一環で職業体験を行った。

清掃班になった私はお掃除の方々の想いを知る事となった。

それは「みんなの笑顔のために」だ。

たとえ一人でも笑顔になつてもらえるようにと一生懸命に働かれている姿。お掃除の方々は生徒が笑顔で挨拶をしてくれると嬉しいそう語ってくれました。機械化が進む現代において、全国の学校や施設の掃除をお掃除ロボットが行う時代が来るのも夢ではないだろう。掃除にかかわらず、車の運転や接客も全てロボットが行う時代になっていくだろう。しかし、どうだろう。学校をお掃除ロボットが掃除していたら、ホテルの接客をロボットがしていたら。笑顔で気持ちの良い日々を送れるだろうか。何気ない会話でも楽しめた日々は戻ってこないだろう。便利な生活を手に入れるより先にそこから失われていくものに耳を傾けて物事を判断するべきではないだろうか。その判断をするのはこれからの時代を生きる私たち若者に託されていると思う。自分たちの判断が次世代の子供たちの未来に影響してくる。だからこそ、今様々な体験をして正しい考えを培い日々を過ごしていくべきだ。

四十年後。機械化で便利な生活になっていることでしょうか。でも、忘れないでいてほしいです。裏で支えてくださる沢山の人々のことを。

命。たった一つの尊いもの。私たちは毎日「明日」が来ることを当たり前のように生活している。しかし、いつ死が訪れてもおかし

くはないだろう。病と闘って余命が告げられた人も、戦争がある国の人も、貧困で食べ物を買えない人も、そして今元気に健康で生活している人も一日の価値は同じだ。「明日」がくる保証はない。自分に与えられた時間をどう過ごすか。人それぞれだと思う。これに関しては正解も不正解もない。なぜならその人の人生だから、どう生きようとその人が決めることだ。だが、自分の人生を優先しすぎて相手の人生を奪うのは絶対にいけない。この一瞬一瞬が人の人生を大きく左右する。どんなに小さな出来事でも相手を絶望に陥らせた、もしくは相手を心の底から喜ばせたりする。ここは、自分だけの世界ではない。人とバランスを取り歩調を合わせながら生きていく世界だ。つまり、生きるのは決して簡単なことではない。だから今こうして生きていることその素晴らしさに誇りをもって生きていくべきだ。そして一秒ずつに刻まれるメモリーをより満足のいくものとして生きていこう。

どうですか、ちゃんと自分の人生を歩めていますか。

簡単なことではないと思います。でもここまで歩んでこられた自分に自信をもってあなたらしい日々にしていってください。そして人を幸せにできる人になっていたら嬉しいですよ。

「結果にとらわれず過程を大事にする」という晃華学園で学んだことはいかせていますか。人の豊かさを共有しあう日々を積み重ねていった晃華での日々があなたの成長に人生に繋がっていることを願っています。差別等を作り出すのも人間ですが相手を尊重しあえるのも人間。だからこそ、あなたには困難に打ち勝って「生きる力」を見出すことのできる立派な大人になってもらいたいです。

十四歳の私より